

大分教育事務所訪問②-70 (計143)

大分市立金池小学校に学ぶ  
学校経営から学ぶ

学校の教育目標「主体的に学び、協働的に高め合う子どもの育成」を達成するために、「**あたらしさ**：よく聞き、よく考え、創りだす子ども」「**あたたかさ**：互いに尊び、助け合い磨き合う子ども」「**たくましさ**：根気強く最後までやり抜く子ども」の「三さの教育」を合い言葉として、3つの資質・能力を意識しながら組織的に取り組まれています。特に、授業改善については、教師自身がチェックリスト（姿勢、意識や配慮、話しの内容や話し方の技法、指導）をもとに自己評価を行い、自ら課題を設定した「個人研」を行うことで授業力の向上を行っています。また、単元末テストや体力の結果を詳細に分析をすることで、それぞれの実践が子ども達の成果をもとにより焦点化した取組となっています。加えて働き方改革も、学期毎に具体的な目標時間を設定することで改善が図られています。

今後は、「三さの教育」を推進するために、学校をあげて育成を目指す（教科横断的な）資質・能力を明確にされてみてはいかがでしょうか。このような上位目標を決めることで、行事などを企画する際に、目的の共通理解が行われやすくなり、実際の方法や手段は担当者に任せることができます。そのことで、担当者の当事者意識が高まり、それぞれの担当者による協働的な新たなアイデア生まれ、より効果的、効率的な実践へとつながるとが期待されます。

参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 pp47—53 2教科等横断的な視点に立った資質・能力 ア 言語能力」



NO.630 2021年12月 大分市立金池小学校

**あたらしさ**

タブレットはコミュニケーションを深めるための道具。だから、相手の事を考えながら伝えます。



NO.633 2021年12月 大分市立金池小学校

**よく聞きよく考える**

先生の説明や友達の意見を聞き、自分の考えとの共通点や違いを見つけるから、考えが深くなる。



NO.631 2021年12月 大分市立金池小学校

**あたたかさ**

学び合うときは、笑顔で相手の考えを受け入れる。解決策と一緒に考える。一人をつくらない。



NO.634 2021年12月 大分市立金池小学校

**創りだす**

みんなが同じ音になるよう整える。一人一人の良さを引き出すように調える。それぞれ調整しながら、世界に一つの演奏を創り上げる



NO.635 2021年12月 大分市立金池小学校

**優しさから**

発表する人へ身体を向けるのは、「頑張れ」「私と同じだよ」「すごい」という事を伝えるため。ルールだからではないよね。



NO.632 2021年12月 大分市立金池小学校

**たくましさ**

諦めずにプレーできるのは、仲間も相手も頑張っているから。応援してくれる人がいるから。



授業から学ぶ

全学級の授業を参観させていただきました。どの学級も温かい雰囲気にあふれ、タブレットの活用や学び合い等の場があり、子ども達が生き活きと活動していました。また、本時のねらいについては、「追求対象、着眼点、到達点」が示されており、日常から意識されていると感じました。今後は指導案を作成する際、「振り返り」を教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして表記してみてはいかがでしょうか。教師が考えた「振り返り」と実際に子どもが書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について互見授業を通して協議したりすることで授業改善が推進されると思いました。



NO.636 2021年12月 大分市立金池小学校

**らしさを発揮**

先生の得意技を出すことで、子どもたちも自分らしさを発揮できる。